

令和元年（2019年）8月19日
政 策 会 議 資 料
市 民 部 市 民 自 治 推 進 室

交通災害・火災等共済制度の廃止について

吹田市交通災害・火災等共済制度については、各種民間保険制度の充実などにより、加入率が年々減少し続けており、単年度赤字が続く状況となっていることから、一定の役割を終えたと判断し、令和2年（2020年）3月末限りで廃止しようとするものです。

1 経緯

吹田市交通災害・火災等共済制度は、交通事故による災害又は火災等による被害を受けた者に対し、相互扶助による共済見舞金等を支給することにより、市民生活の安定に寄与することを目的として、市独自の制度として半世紀にわたり実施してきました。

これまで、二つの共済制度の統合や見舞金の増額、地震火災見舞金の創設など、収支の健全化と経営の安定化に努めながら制度を運営してきました。

- (1) 昭和 47 年(1972 年) 交通災害共済制度創設
- (2) 昭和 57 年(1982 年) 火災共済制度創設
- (3) 平成 15 年(2003 年) 両制度統合

2 廃止理由

制度の設立当初は、交通事故や火災等に対する民間保険制度が十分でなかったことから、加入者数は順調に増加し、加入率については、交通災害共済が昭和 56 年(1981 年)に 37.8%、火災等共済が平成 7 年(1995 年)に 24.3%と最も高くなりました。

その後、各種民間保険制度の充実などにより、本制度に対する市民ニーズが低下したことから、年々減少し続け、平成 30 年度(2018 年度)には、交通災害共済が 12.1%とピーク時の3分の1以下に、火災等共済が 11.0%とピーク時の2分の1以下になっています。

また、加入者数の減少に伴う加入金収入の減少により、近年、単年度赤字が続いており、制度の安定的な運営が困難な状況となっています。

以上のことから、本制度については、一定の役割を終えたと判断し、令和2年（2020年）3月末限りで廃止しようとするものです。

3 他市状況について

大阪府内では、本市以外に同様の共済制度を実施しているのは、大東市、東大阪市の2市のみとなっています。

4 市民意見等の聴取について

(1) 吹田市民の意見の提出に関する条例に基づく意見提出手続き

ア 意見募集期間 令和元年(2019年)7月1日(月)～7月31日(水)

- イ 意見提出 9通(賛成3通、反対4通、その他2通)
- (2) 市民自治推進室での窓口アンケートの実施
 - ア 本共済制度以外の保険加入等についてアンケートを実施
 - イ 実施期間:平成 30 年(2018 年)7月 23 日(月)～9月 28 日(金)
 - ウ 回答件数:56 件
 - ・交通で 44.6%、火災等で 48.3%が本共済以外の共済、民間保険に加入
- (3) 自治会アンケートの実施
 - ア 自治会取りまとめの状況等について、各単一自治会にアンケートを実施
 - イ 実施時期:平成 30 年(2018 年)12 月 10 日(月)～12 月 28 日(金)
 - ウ 回答件数:262 件
 - ・役員の高齢化・担い手不足、加入金や個人情報扱うのが不安のため、取りまとめが難しい (162 件)
- (4) 市民意識調査の実施
 - ア 共済の加入状況等についてアンケートを実施
 - イ 実施時期:平成 30 年(2018 年)7月
 - ウ 回答件数:1,165 件
 - ・平成 21 年度市政モニタリング調査と比較すると、両共済の加入者は約 32%減少

5 交通災害・火災等共済基金の取扱いについて

毎年度、交通災害・火災等共済特別会計において生じた剰余金については、大規模災害の発生等により、共済見舞金等の支払いに係る財源不足が生じないよう基金への積立てを行っていません。給付事務の終了後、基金に残金が生じる場合は、その残金を交通災害・火災等の予防に活用するなど、制度の趣旨に沿った用途を検討します。

6 今後のスケジュール

令和元年(2019 年)9月	パブリックコメント結果公表 定例会に下記条例案件提案 1 吹田市交通災害・火災等共済条例の廃止 2 吹田市交通災害・火災等共済基金条例の廃止 3 吹田市特別会計条例の一部改正
令和2年(2020 年)3月末限り	吹田市交通災害・火災等共済制度の廃止
令和2年(2020 年)4月	吹田市交通災害・火災等共済条例の廃止 吹田市特別会計条例の一部改正
令和4年(2022 年)3月末限り	吹田市交通災害・火災等共済見舞金給付事務終了 (共済見舞金等の請求期間は、事故等災害発生日から2年以内) (共済見舞金等は、基金から一般会計に繰り入れて支出)
令和4年(2022 年)4月	吹田市交通災害・火災等共済基金条例の廃止